

岩手もりおか復興ステーション
in
西上尾第一団地青空まつり

岩手県を中心に被災地の復興支援で活躍する「SAVE IWATE」様（盛岡市の首都圏での震災復興の情報発信拠点である「岩手もりおか復興ステーション」を運営）が、当機構のUR賃貸住宅「西上尾第一団地」の自治会が主催する「青空まつり」（平成24年11月25日（日）、同団地において開催）に参加されました。



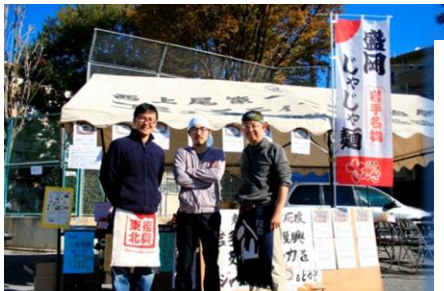
会場入口の看板

当日は、天気にも恵まれ、澄んだ秋晴れの下、団地にお住まいの方を中心に数多くの方が参加して「青空まつり」が開催されました。このおまつりは、昭和53年から続く団地のコミュニティイベントです。

UR都市機構では、岩手、宮城、福島県下の18市町村にて復興まちづくりを支援しておりますが、これと並行し、地元の自治体、事業者の皆様にも団地を活用した被災地支援をご提案するなどしてまいりました。このような中、「SAVE IWATE」様から出店のご意向をいただき、一方で、ちょうど団地自治会からもこのイベントを紹介され、このたびの参加、出店につながったものです。

当日は、会場にお越しいただいた皆様から大きな支援が寄せられました。

◇ 会場の様子



◆◆◆ お品書き ◆◆◆



盛岡じゃじゃ麺



三陸復興カレンダー



三陸の和グルメ



(左) こだわりイチゴのコンフィチュール
(右) トマトケチャップ



岩手地ビール
(ペアレンビール)



三陸のむきグルメ

ご 案 内

このたび、UR賃貸住宅「西上尾第一団地」で自治会が主催する「青空まつり」に、岩手県を中心に活動する「SAVE IWATE」様が参加し、復興応援グッズの販売を実施することとなりましたので、次のとおりご案内します。

■ UR賃貸住宅「西上尾第一団地」青空まつりとSAVE IWATE様出店内容

【日時】2012年11月25日(日)10時~13時

【場所】UR賃貸住宅「西上尾第一団地」1街区グラウンド

(上尾市大字小敷谷 JR高崎線「上尾」駅バス10分)

【SAVE IWATE様出店内容】復興応援グッズの販売(三陸クルミ、山田醤油、地ビール、復興支援カレンダーなど)

※ 「青空まつり」は、昭和53年から自治会様が主催して開催されている団地内のコミュニティイベントです。

※ 自治会様が参加を募ったその他のお店(食品、衣料他)も多数出店されます。

【会場の地図】



■ 出店の経緯

- UR都市機構では、被災された市町村に職員を派遣するとともに、仙台及び盛岡を拠点に震災復興支援局を設置するなどして、復興支援に積極的に取り組んで参りました。
- その復興支援の一助として、UR賃貸住宅を舞台として被災地の物産販売ができないかと考え、現地に設置した復興支援局を通じるなどして地元公共団体の皆様や地元で活動する事業者の方々と情報交換をする一方、UR賃貸住宅の団地自治会の団体にも協力をお願いしてきたところです。
- そのような中、当機構の岩手震災復興支援局を通じて「SAVE IWATE」様から地元産品販売の可能性について打診があり、ちょうど、西上尾第一団地自治会様から「青空まつり」開催のご案内をいただいたことから、このたびの出店となったものです。

■ SAVE IWATE様

- SAVE IWATE様は、東日本大震災の直後、平成23年3月13日に盛岡市在住の有志の方によりスタートし、同年3月23日に設立総会を開催し、一般社団法人として正式に発足しました。
- 現在、被災地の起業・人災育成を図る「岩手ソーシャルビジネススクール」(岩手県盛岡市鉦屋)、盛岡市が市内で生活の再建に取り組む方々にきめ細やかな支援活動を行うために設置した「もりおか復興支援センター」(岩手県盛岡市内丸)、盛岡市が首都圏で震災復興情報を発信する活動拠点として設けた「岩手もりおか復興ステーション」(東京都飯田橋)の運営などを行う一方、被災地の食材の紹介など地道な活動もされておられます。
- また、平成23年10月には「東京支部」を開設し、活動の幅を広げています。

<参考>

- SAVE IWATE : <http://sviwate.wordpress.com/>
- 岩手ソーシャルビジネススクール : <http://www.iwatesbs.net/home/>
- もりおか復興支援センター : <http://morioka-fukkou.com/>
- 岩手もりおか復興ステーション :
<http://www.city.morioka.iwate.jp/shinsai/13745/017583.html>
- SAVE IWATE 東京支部 :
<https://sites.google.com/site/svitokyo/2012/>

当機構では、今後も被災地の復興支援に取り組んで参りたいと思います。